

KOIZUMI コイズミ照明器具用部品 施工取扱説明書










型番 AE41757E・AE41758E・AE41759E




お客様へ 部品の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
 厳守	部品の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →部品の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	 禁止	この部品は天井埋込専用部品です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 →部品の落下によるけがの原因になります。
 禁止	マット敷き工法(住宅用人工造鉱物繊維断熱材JIS A 9521)および ブローイング工法(吹き込み用繊維質断熱材 JIS A 9523)で施工された天井に使用することができます。 特殊な断熱施工された天井には使用しないでください。 →火災の原因になります。 外郭が天井内の造営物やダクトなどの設備に触れないように施工してください。	 分解禁止	部品を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
		 禁止	部品のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。 説明書に記載された負荷容量以下でご使用ください。照明器具以外の負荷は使用できません。 →火災・感電・故障の原因になります。
 厳守	  <マット敷き工法> <ブローイング工法>	 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
 禁止	周囲温度5~35℃、湿度45~85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	 禁止	ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、部品の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。 →火災の原因になります。
	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	 厳守	表示された電源電圧以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。

■定格

型番	定格電圧	周波数	負荷容量
AE41757E・AE41758E・AE41759E	AC100V	50/60Hz 共用	LED照明器具 2~70Wまで

※表記の負荷容量は、あくまで参考値です。使用条件により多少の変動があります。
※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

保証とアフターサービスについて

保証について

・この照明器具部品の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。
・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼される時

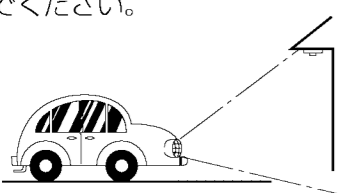
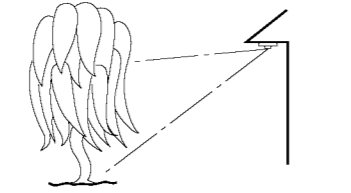
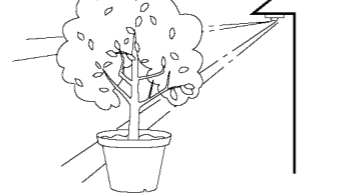
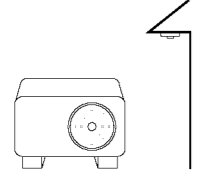
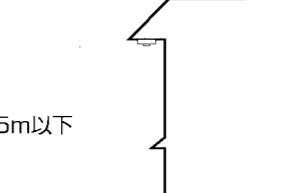


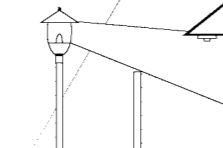
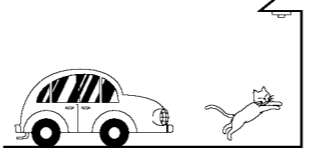
・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

■施工前の確認

1 部品重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 設置場所を確認する

- 下図のような場所には取付けない。
誤作動の原因になります。

<p>車のヘッドライトなど、強い光が直接センサ部に入る場所には取付けないでください。</p> 	<p>風などでよく振れる植物などがある場所には取付けないでください。</p> 	<p>感知エリア内に障害物のある場所には取付けないでください。</p> 
<p>エアコンの室外機の近くには取付けないでください。</p> 	<p>取付高さが5mを超える場所には取付けないでください。</p> <p>5m以下</p> 	<p>不安定な場所や振動の激しい場所には取付けないでください。</p> 
<p>昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。</p> 	<p>夜間でも明るい場所(隣地や他の照明がセンサにあたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。</p> 	<p>感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。</p> 

- 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

3 部品と他の光源は1m以上離して取付ける
ダウンライトの場合は150mm以上離して取付ける
誤作動の原因になります。

4 取付面が十分乾燥していることを確認する
器具や取付面の変色の原因になります。

5 自動点滅器(デイライトスイッチなど)との併用はしない
誤作動の原因になります。

6 壁スイッチを設ける
誤作動時のリセットができません。

<ホテルスイッチなど、電源OFF時に表示灯が点灯するタイプの場合>

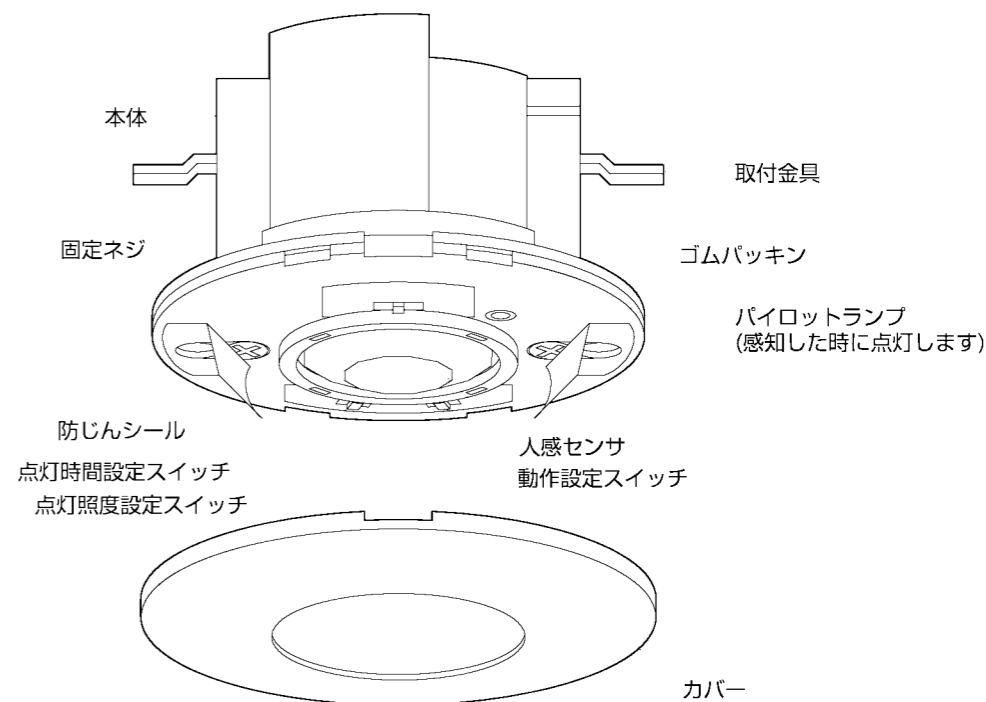
- 壁スイッチの使用は4個(5路配線)までとしてください。
- 壁スイッチを5個以上使用される場合はホテルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

<パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

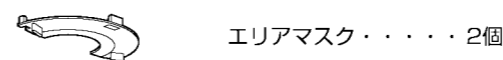
- 壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



<付属部品>

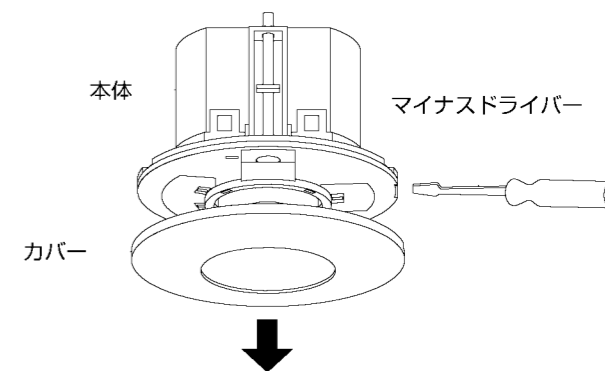


1 天井に埋込穴をあける

埋込穴寸法	天井材厚
φ75 ⁺² ₋₁	1~35mm

2 カバーを取外す

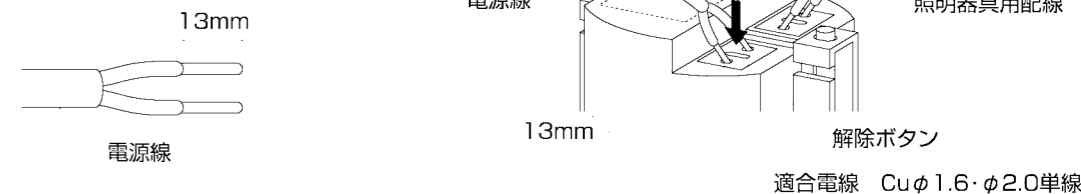
カバーを本体からマイナスドライバーを用いて取外す。



3 電源線を接続する

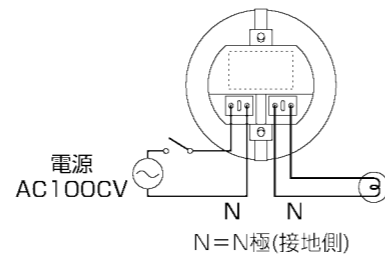
電源線の被覆を13mmむき、接続端子に確実に差し込む。
はずす時は解除ボタンを押しながら、電源線を抜く。

△警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



<センサスイッチ単体使用の場合>

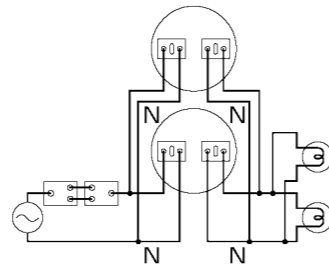
- ※壁スイッチは、必ず電源側に施工してください。
- ※必ず極性に注意して配線してください。誤った配線をした場合、センサスイッチが故障します。



<センサスイッチ複数使用の場合>

- ・照明器具2台
- ・2箇所感知
- ・3路スイッチでの2箇所切替

- ※壁スイッチは、必ず電源側に施工してください。
- ※必ず極性に注意して配線してください。誤った配線をした場合、センサスイッチが故障します。
- ※センサスイッチの台数にかかわらず、負荷容量は変わりません。



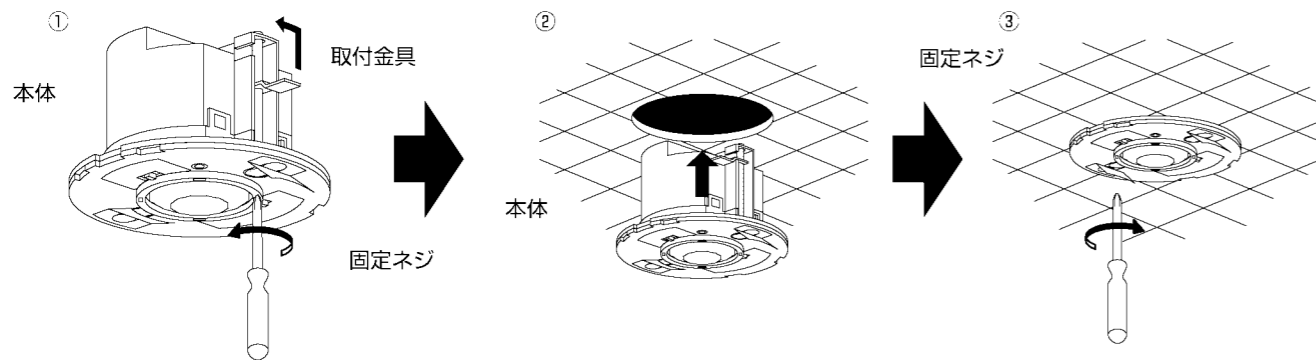
センサスイッチ接続可能台数
5台まで(5箇所感知)
注)LED照明器具は2台以上接続してください。

注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

4 本体を取付ける

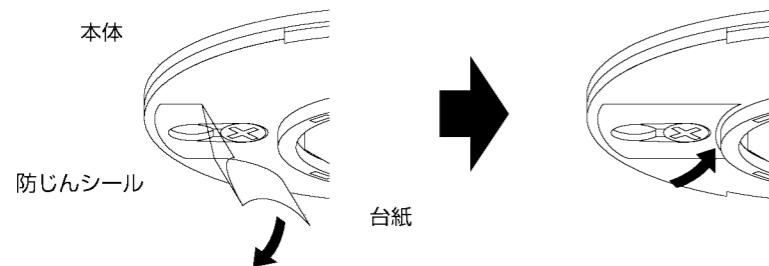
- ① 固定ネジをゆるめ、取付金具を上に移動し、横に向ける。
- ② 本体を天井穴に入れ、水平に押し上げる。
- ③ 固定ネジを締め付け、取付金具を下に移動させ本体を取付ける。

※電動ドライバーは使用しないでください。



5 防じんシールを貼付ける

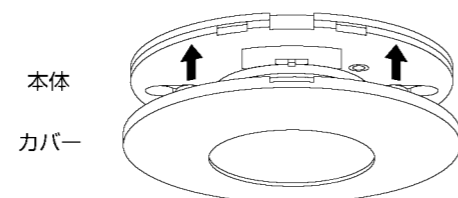
防じんシールの台紙をはがし、本体に貼付ける。



6 カバーを取付ける

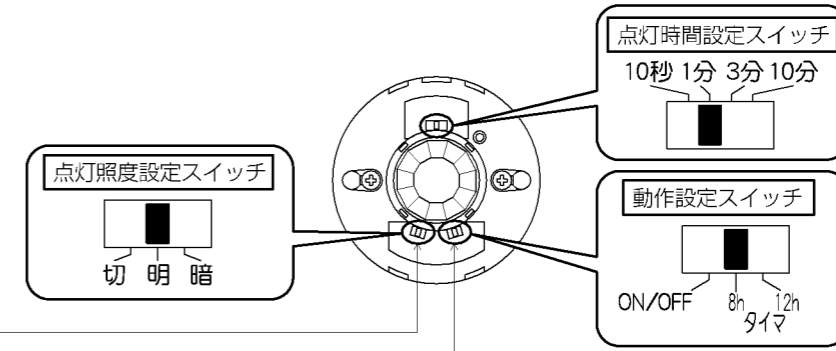
カバーを本体にはめ込む。

※カバーの取付けは、感知エリアの設定およびセンサの設定を行ってから取付けてください。



7 点灯の確認を行なう

■センサの内容



※点灯時間を4段階に設定できます。

動作設定スイッチ	ON/OFF			8hタイマ			12hタイマ		
	切	明	暗	切	明	暗	切	明	暗
点灯照度設定スイッチ									
設定内容	終日オンオフモード	夜間オンオフモード 約45lxで点灯できる状態	夜間オンオフモード 約15lxで点灯できる状態	8時間タイマーモード 明るさに関係なく点灯	8時間タイマーモード 約45lxで点灯	8時間タイマーモード 約15lxで点灯	12時間タイマーモード 明るさに関係なく点灯	12時間タイマーモード 約45lxで点灯	12時間タイマーモード 約15lxで点灯

※センサが感知すると、設定された時間点灯します。(連続点灯モードを除く)

点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。

電源投入後、人を感知し続けると点灯時間が長くなるがありますが、異常ではありません。

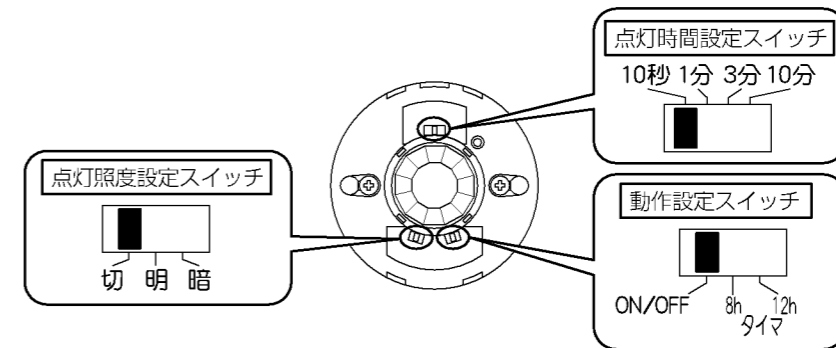
※スイッチの設定を変更した場合、壁スイッチを一旦5秒以上OFFにしてからONにしてください。誤作動する場合があります。

■感知エリアの設定

テストモードでセンサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

テストモード

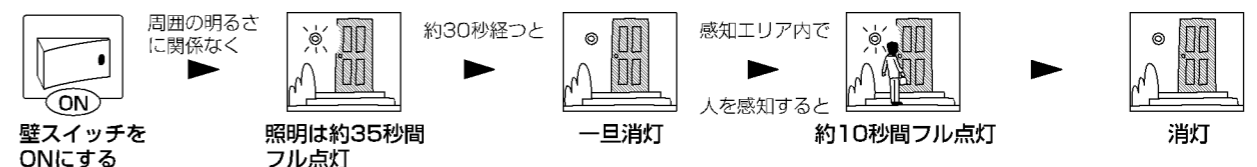
下図のように点灯時間設定スイッチを「10秒」点灯照度設定スイッチを「切」、動作設定スイッチを「ON/OFF」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。



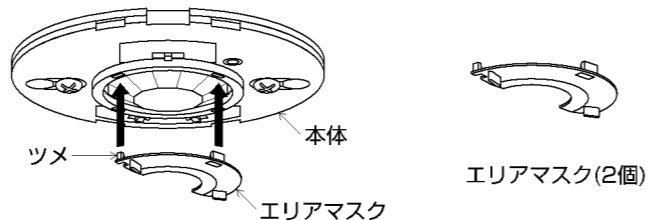
① 電源投入後、約35秒間点灯し、その後は明るくても人を感知することにより約10秒間点灯します。結線および負荷の作動を確認できます。

② 明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約10秒間点灯します。

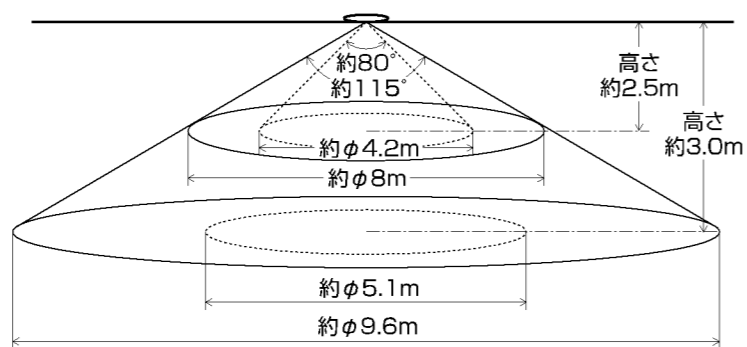
※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。



●エリアマスクで感知エリアをせまくできます。
感知エリアをせまくしたい方向にエリアマスクのツメを本体にはめ込んでください。



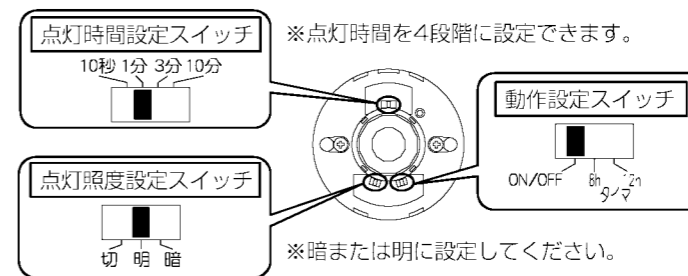
□ エリアカットマスクなし
○ エリアカットマスクあり



※センサに向かった動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)
※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。
※エリア確認後は必ず■センサの設定を行なってください。

■センサの設定
ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度を設定してください。

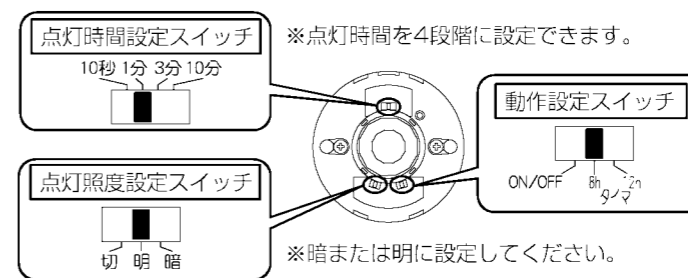
夜間オンオフモード



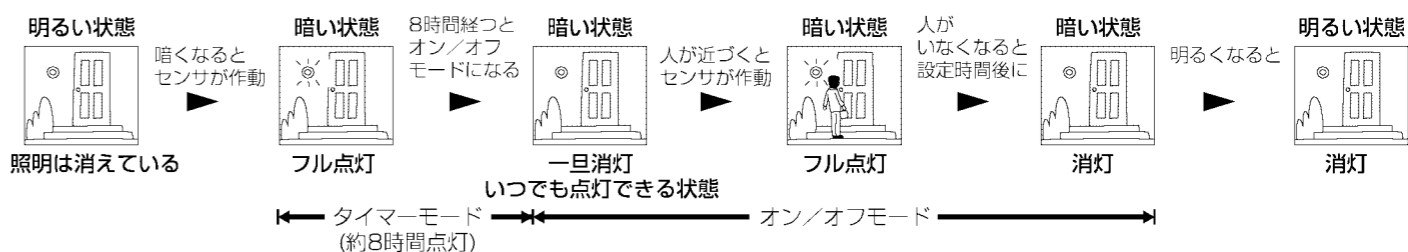
暗くなって人が来た時だけフル点灯



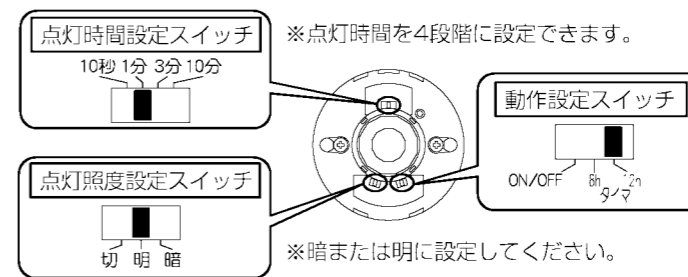
8時間タイマーモード



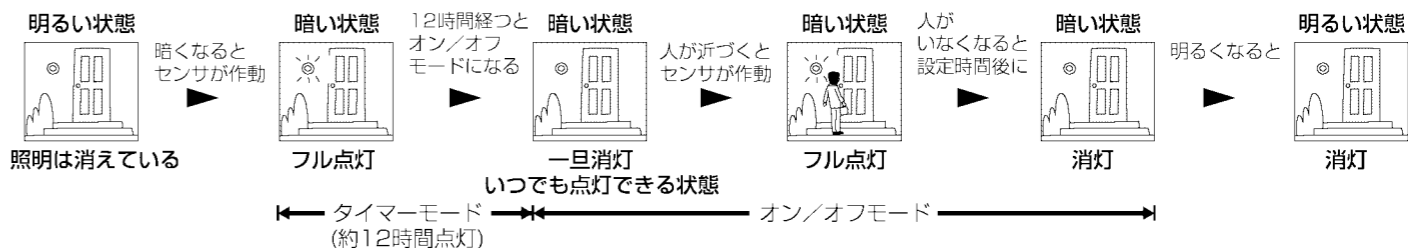
暗くなると8時間フル点灯し、その後は、オン/オフモードに切り替わる



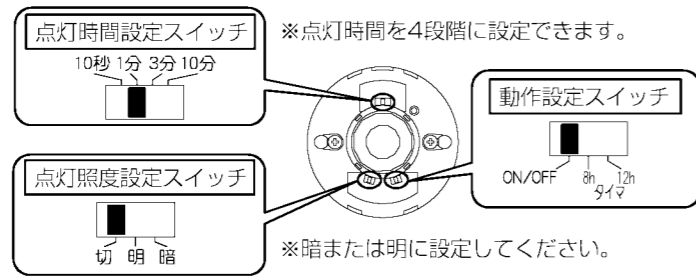
12時間タイマーモード



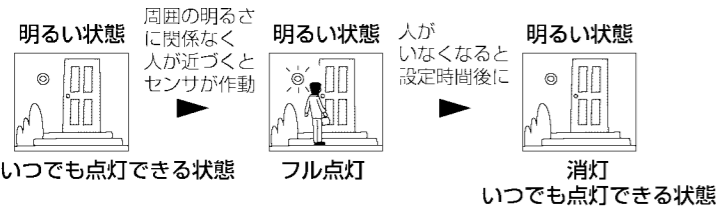
暗くなると12時間フル点灯し、その後は、オン/オフモードに切り替わる



終日オンオフモード

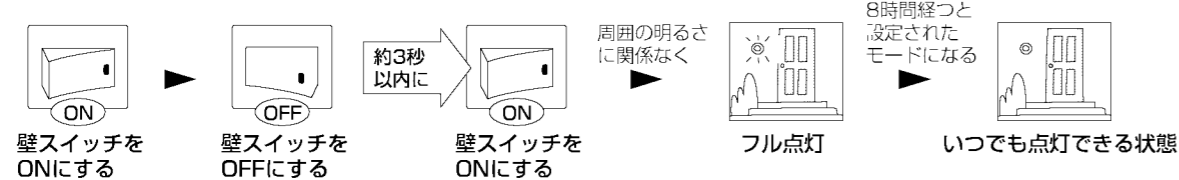


明るくても暗くても人が来た時だけフル点灯



連続点灯モード

センサに関係なく壁スイッチの操作で約8時間の連続点灯し、その後は、設定されたモードに移行



※約8時間以内に切り替えたい場合は、壁スイッチをOFFにし、しばらく(約5秒以上)してからONにすると、点灯し、約60秒後に設定されたモードになります。

※電源投入後、約35秒間点灯し、その後約25秒間は明るくても人を感知するごとに約10秒間点灯します。電源投入から約60秒後に一旦消灯し設定したモードになります。(連続点灯モードを除く。)

※設定後、連続点灯モード以外は、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

! 部品の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 部品の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 部品の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 部品の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。

■部品のお手入れ △注意 部品のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 部品の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

- センサ感知動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。
- 正常に戻らない場合は、壁スイッチをOFFにして(5秒以上)再びONにしてください。

現象	考えられる原因	処置
感知エリアに人がいるのに点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	点灯照度設定スイッチで設定した明るさよりも周囲が明るい	点灯照度設定スイッチを「明」または「切」にする
	センサに光が入っている	光源を取り除く
	人が静止しているか、動きが小さい	静止しているか、動きが小さい状態では感知できません
感知エリアに人がいるのに点灯しにくい	センサがよごれていたり蒸気などの水滴がついている	センサを柔らかい布で傷がつかないようにふきとる
	寒冷地などで顔がマフラーで覆われていたり手袋をしている	本センサは温度変化を感知するため左記の場合感知しにくいことがあります(故障ではありません)
	暑い日などに周囲温度と人体の温度差が少ない	
感知エリアに人がいないのに点灯している	感知エリア内に人以外の熱源がある(例) 白熱灯照明器具 エアコンの吹き出し口 風などでよく揺れるもの(植木、カーテンなど) 犬や猫などの動物 ストーブなどの暖房器具	感知エリア内の熱源を取り除く
	壁スイッチをONにした直後または停電が回復した直後	壁スイッチON後、約35秒は点灯します(故障ではありません)
	センサ部の動作設定スイッチが「8h」または「12h」になっている	動作設定スイッチを「ON/OFF」以外にする